



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月3日

上場会社名 池上通信機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6771 URL <https://www.ikegami.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清森 洋祐

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 青木 隆明

TEL 03-5700-1111

四半期報告書提出予定日 2023年8月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,500	29.2	236		104		121	
2023年3月期第1四半期	2,710	10.3	766		734		732	

(注)包括利益 2024年3月期第1四半期 115百万円 (%) 2023年3月期第1四半期 614百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	18.92	
2023年3月期第1四半期	114.58	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	27,142	12,762	47.0
2023年3月期	28,961	12,710	43.9

(参考)自己資本 2024年3月期第1四半期 12,762百万円 2023年3月期 12,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		10.00	10.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	1.6	600		500		400		62.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	7,285,746 株	2023年3月期	7,285,746 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	887,471 株	2023年3月期	887,304 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	6,398,416 株	2023年3月期1Q	6,392,742 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

Ikegami

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年6月30日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行するなど、各種政策の効果もあって経済社会活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

また、世界経済におきましても、欧州では景気の足踏み状態が続いたものの、米国では景気の緩やかな回復が継続し、中国でも持ち直しの動きが見られるなど、景気の持ち直しに期待がされましたが、世界的な金融引締め動きや、ウクライナ情勢を背景とした資源を始め原材料価格の高騰による影響など、景気の下振れリスクが存在する状況で推移しました。

このような状況下において、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、以下のとおりとなりました。

国内販売につきましては、放送システム事業の売上高は前年同期を下回りましたが、産業システム事業の売上高は前年同期を大きく上回りました。

海外におきましては、欧州地域は前年同期並みの売上高を維持し、北米、アジア地域では前年同期の売上高を大きく上回りました。

この結果、連結売上高は、前年同期比 29.2%増の 35 億円（前年同期売上高 27 億 10 百万円）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加に併せ、不安定な原材料市況に起因する売上原価への影響を極小化するための施策の成果もあり、前年同期比で売上原価率が改善されたことから、営業損益は前年同期比で 5 億 29 百万円改善し、営業損失 2 億 36 百万円（前年同期営業損失 7 億 66 百万円）となりました。

経常損益につきましては、営業外収益に為替差益などを計上したことにより、経常損失 1 億 4 百万円（前年同期経常損失 7 億 34 百万円）となりました。最終損益につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失 1 億 21 百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失 7 億 32 百万円）となりました。

(地域別市場概況)

国内販売につきましては、ヘリコプターテレビシステムなど映像伝送システムの販売が増加しましたが、前年同期に売上を伸ばした中継車システムの販売で、今第1四半期での更新需要が減少したことが影響し、放送システム事業の売上高は前年同期を下回りました。一方、産業システム事業では、メディカル事業は前年同期並みの売上高となりましたが、セキュリティ事業で CCTV システムの販売が堅調に推移したほか、官公庁向け販売も大きく伸長し、検査装置事業でも錠剤検査装置、錠剤印刷装置の販売が増加したこともあり、前年同期の売上高を大きく上回りました。

北米地域におきましては、セキュリティカメラの販売は前年同期並みとなりましたが、放送用カメラシステム、医療用カメラなどの販売が堅調に推移したことから、売上高は前年同期を上回る 3 億 6 百万円（前年同期売上高 1 億 34 百万円）となりました。

欧州地域におきましては、医療用カメラ、モニターの販売は堅調に推移しましたが、放送用カメラシステムの受注案件が第2四半期以降に後ろ倒しになったことにより、売上高は前年同期並みの 2 億 78 百万円（前年同期売上高 2 億 81 百万円）となりました。

アジア地域につきましては、前年度に引き続き中国市場における医療用カメラ、モニターの販売が大きく伸長したことが寄与し、売上高は前年同期を大きく上回る7億61百万円（前年同期売上高2億98百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、271億42百万円であり、前連結会計年度末に比べ18億18百万円減少しました。流動資産は、売掛金の減少、現金及び預金、商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品の増加等により、前連結会計年度末に比べ18億49百万円減の221億23百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の減少、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ30百万円増の50億19百万円となりました。

負債総額は143億80百万円であり、前連結会計年度末に比べ18億70百万円減少しました。流動負債は、短期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ14億67百万円減の101億42百万円となりました。固定負債は、社債、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ4億3百万円減の42億37百万円となりました。

純資産については、前連結会計年度末に比べ51百万円増加し、127億62百万円となりました。これは、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失計上による利益剰余金の減少とその他の包括利益累計額合計の増加等によるものです。

この結果、自己資本比率は、47.0%（前連結会計年度末43.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、新型コロナウイルス感染症拡大に端を発した半導体を始めとしたサプライチェーンの混乱による影響は徐々に緩和され、落ち着きを取り戻しつつありますが、市況は未だ不安定な状態が続いております。また、ウクライナ情勢を背景とした資源価格の高騰や、物価上昇によるインフレ局面の進行が懸念されるなど、景気の下振れリスクが存在する先行き不透明な状況となっております。

このような状況下において、当社グループは、業績の確保に向け、調達先の多様化の一環として各種部材の供給状況、納期変動をより迅速に把握できる体制を整え、部材の適正なタイミングでの入手に取り組んでおり、生産活動は改善傾向にあります。また、生産の平準化による生産効率の追求や販売価格の見直し・改定を進めるなど、不安定な原材料市況に起因する売上原価への影響を極小化するための施策を引き続き推進して参ります。

このように、引き続き、市況の不安定な状況が継続することが見込まれておりますが、現状において2023年5月11日に公表しました2024年3月期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の業績動向等を見ながら、修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

※当第1四半期連結累計期間の売上高は、2023年5月11日に公表しました2024年3月期の業績予想に比べ、通期予想を12カ月で除した進捗率と大きな乖離があります。これは、客先要求により年度末に納期を迎える受注が多いことから第4四半期連結会計期間に売上が集中する傾向があるためです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,483	5,913
受取手形、売掛金及び契約資産	8,651	3,034
電子記録債権	796	732
商品及び製品	904	1,052
仕掛品	4,874	6,442
原材料及び貯蔵品	4,106	4,648
その他	176	318
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	23,972	22,123
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,537	1,534
土地	1,779	1,793
その他（純額）	911	843
有形固定資産合計	4,228	4,171
無形固定資産	99	105
投資その他の資産		
投資有価証券	364	442
その他	357	360
貸倒引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	661	742
固定資産合計	4,988	5,019
資産合計	28,961	27,142
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,274	2,146
電子記録債務	2,795	2,766
短期借入金	3,800	2,229
未払法人税等	114	42
賞与引当金	330	272
役員賞与引当金	10	-
製品保証引当金	115	121
その他	2,166	2,563
流動負債合計	11,609	10,142
固定負債		
社債	200	100
長期借入金	3,537	3,260
繰延税金負債	32	55
退職給付に係る負債	419	396
資産除去債務	25	25
その他	426	399
固定負債合計	4,640	4,237
負債合計	16,250	14,380

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	4,465	4,465
利益剰余金	2,927	2,742
自己株式	△909	△909
株主資本合計	13,483	13,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92	146
為替換算調整勘定	△934	△745
退職給付に係る調整累計額	69	63
その他の包括利益累計額合計	△772	△535
純資産合計	12,710	12,762
負債純資産合計	28,961	27,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,710	3,500
売上原価	2,133	2,313
売上総利益	576	1,186
販売費及び一般管理費	1,342	1,423
営業損失(△)	△766	△236
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	3
為替差益	28	36
貸倒引当金戻入額	6	1
工事中止に伴う受入金	-	100
その他	10	7
営業外収益合計	49	148
営業外費用		
支払利息	14	15
その他	3	0
営業外費用合計	17	15
経常損失(△)	△734	△104
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△734	△104
法人税、住民税及び事業税	△2	16
四半期純損失(△)	△732	△121
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△732	△121

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△732	△121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	53
為替換算調整勘定	124	188
退職給付に係る調整額	△6	△6
その他の包括利益合計	118	236
四半期包括利益	△614	115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△614	115

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。